

ロータリー機能付加

平面研削盤向けテーブル

大弥精機



大弥精機が開発した「ロータリーマグネットテーブル」

【浜松】大弥精機（静岡県磐田市、松原正基社長）は、平面研削盤に搭載してロータリー研削の機能を付加できる「ロータリーマグネットテーブル」を開発し、発売した。テ

ーブルにマグネットで固定した円筒・円柱状の加工対象物（ワーク）を回転させ、端面をロータリー研削ができるようになる。標準的な平面研削盤であれば、新品への搭載と後

付けの両方に対応可能。価格は仕様で異なるが、消費税抜きで100万円前後。年間10台の販売を目指す。大弥精機社内用の開発品を、同社製品の工

250mmで装置の高さは165mm。ワークの各最大サイズは長さ10mm、直径200mm、高さ100mm、150mm。想

定する用途はスピンドルやモーターなどの軸系部品の仕上げや組み立て前の調整。機械商社と連携して販売する。標準品を用

意するが、個別の設計にも応じる。新品に搭載する際は操作盤にボタンを設置し、後付けの場合は別途操作パネルを用意する。

た。テーブルの最大回転数は毎分4000回転。テーブルの直径は